

「今月の主な紙面」

- いきいき研修医紹介、医師増員署名決起集会
- 能登半島地震支援、わんこにゃんこ、お気に入り
- 歩こう平和行進、相談室、パズル、読者のひろば



愛知県民主医療機関連合会  
〒456-0006 名古屋市熱田区沢下町9番3号  
☎ 052-883-6997 FAX 052-889-2112  
発行責任者 武田 修三  
URL : https://www.aichiminiren.jp/  
E-mail : aichiminiren@aichiminiren.jp  
**第478号**

愛知民医連  
2023年度  
事務職員研修会

未来への希望を語り合おう  
全日本民医連第46回定期総会方針を学ぶ



事務職員研修会・講演からの学び

今回の研修は、講師に木原望氏(全日本民医連事務局次長)をお招きし、「未来への希望を語り合おう」(全日本民医連第46回定期総会方針を学ぶ)と題して、講演を行っていただきました。

木原氏は、全日本民医連の定期総会で確認された方針について、この研修の参加者が法人の枠を超えて一緒に学びながら、事務職員がどのように輝き、いきいきと働けるかを考えていく

全国からたくさんの方の補強・修正の意見が出され、活発な議論の末に決定された第46回総会スローガンは「戦争を止める」「政治を変える」「事業所をまもる」の3点です。そして、この3つのスローガンを表現するうえで重要となるのが、「ケアの倫理」を深めることであり、その重要性について、輪島診療所の職員さんたちが、それぞれの被災体験を引きずりつづも避難所や輪島診療所などで寝泊まりしながら、医療・介護活動に奮闘されている様子など、全国の民医連事業所での取り組みの実例を通じて学びました。

参加者からは、「石川で自身が被災者であるにも関わらず、ケアに奮闘している介護職員に感銘した」、「能登の活動にも胸打たれ、民医連っていいなと思います」、「ケアの倫理」ということを初めて知り

「民医連方針、綱領を今一度学び、現場で共有しよう」と思いました。「民医連の綱領に立ち返り、事務としての役割を果たす。自分の生活を守るために経営も意識する。法人の活動が新しいステージに入っている」など、参加者の心に響いた様子でした。

**未来への希望を  
職場に持ち帰り、  
日々の業務に  
取り組んで  
いきたい**

講演の後は、グループごとにディスカッションを実施しました。今回は久しぶりの集合研修ということもあり、法人の垣根を超えた交流に、65分の時間を設けました。講演の感想や、職場での取り組み、またこれから取り組みたいことなど、直接顔を合わせながら、気軽に話し合いました。

感想文からは「事務職の中でも他職種の方と交流ができ、様々な視点、気づきがあることを実感しました」

「民医連70年のあゆみと綱領に根差した活動を継続することの大切さ」

「民医連新聞」の前身となる「全日本民医連」紙の第1号には、「SDH」「他職種協働」「共同のいとなみ」「共同組織」など、現在も私たちが大事にしている視点が盛り込まれており、それらを70年かけて深めてきたのが民医連のあゆみである、改めて紹介されました。

しかしながら、民医連の経営はかつて経験したことのない「経営危機」に見舞われており、この困難を打開するためには、民医連綱領にしっかりと立ち返ることが必要であると、木原氏は強調されました。経営が厳しい今だからこそ、綱領に根差した活動を日常的に積み上げ、事業を推進していくことが重要なのだと、みんなが再確認することができました。



法人の垣根を越えてグループ交流



全体交流でのグループ報告

「民医連70年のあゆみと綱領に根差した活動を継続することの大切さ」

「民医連新聞」の前身となる「全日本民医連」紙の第1号には、「SDH」「他職種協働」「共同のいとなみ」「共同組織」など、現在も私たちが大事にしている視点が盛り込まれており、それらを70年かけて深めてきたのが民医連のあゆみである、改めて紹介されました。

しかしながら、民医連の経営はかつて経験したことのない「経営危機」に見舞われており、この困難を打開するためには、民医連綱領にしっかりと立ち返ることが必要であると、木原氏は強調されました。経営が厳しい今だからこそ、綱領に根差した活動を日常的に積み上げ、事業を推進していくことが重要なのだと、みんなが再確認することができました。



全日本民医連・木原事務局次長

「民医連の職員として、現状や悩み、考え方を共有できてよかった」、「自分の所属しているところには無いものがあり、刺激的でした」、「組織としての進化・深化させる・する時に、今日のグループのメンバーの顔を思い浮かべて頑張りたい」など、有意義な交流ができたことが伝わってきました。

今回の研修を通して、理想のチーム医療体制の図に、事務という文字はなくても、それぞれの専門職や患者の間とつながるスペシャリストとして存在し、理想の医療を実現させたい、そのような未来への希望を職場に持ち帰り、日々の業務に取り組んでいきたい

☆3月8日そよら上飯田でまちかど健康チェックで歯科衛生士の「オーラルフレイル予防」ミニ講座実施。  
☆3月27日ワイワイルームにて春休みお楽しみ会、ひとり人形芝居「ぶんぶくぶんぶく」。  
☆3月30日小幡緑地管理事務所と「かみ飛行機・缶笛を作ろう」を実施。

**名南**

☆法人長期計画の目標に沿って、2023年度は友の会

☆3月17日、南生協病院とよって横丁で「すこやかな心と体を育もう 食事・運動・睡眠でフレイル予防」をテーマに第33回健康フェスティバルを開催しました。地域の健康づくり大集合・体験会や事業所企画、南医療生協の委員会活動紹介などで各会場に笑顔があふれました。

**北**

☆3月8日そよら上飯田でまちかど健康チェックで歯科衛生士の「オーラルフレイル予防」ミニ講座実施。  
☆3月27日ワイワイルームにて春休みお楽しみ会、ひとり人形芝居「ぶんぶくぶんぶく」。  
☆3月30日小幡緑地管理事務所と「かみ飛行機・缶笛を作ろう」を実施。

**南**

☆3月10日「第29回まちづくり・健康づくりフェスタ」をフルで開催。共生革命家ソーヤー海さんの講演会や、中学生の合唱コンサート、89本の企画が並び、1200人を超える参加で賑わいました。

☆3月17日、南生協病院とよって横丁で「すこやかな心と体を育もう 食事・運動・睡眠でフレイル予防」をテーマに第33回健康フェスティバルを開催しました。地域の健康づくり大集合・体験会や事業所企画、南医療生協の委員会活動紹介などで各会場に笑顔があふれました。

**南**

☆尾張健康友の会に8つ目の丹陽支部が誕生。3月19日結成総会を27名で行い今後の活動方針を決議。  
☆3月14日、代表5名による3・1ピキニデー集会報告会に51名が参加。  
☆3月27日共済モルック交流会を開催し11チーム50名参加。腕を競った交流に大盛り上がりでした。

**尾張**

☆尾張健康友の会に8つ目の丹陽支部が誕生。3月19日結成総会を27名で行い今後の活動方針を決議。  
☆3月14日、代表5名による3・1ピキニデー集会報告会に51名が参加。  
☆3月27日共済モルック交流会を開催し11チーム50名参加。腕を競った交流に大盛り上がりでした。

**ファルマネット**

☆薬局利用拡大のための「三つのつながり」として、班会依頼は基本的に断らないとのスタンスで講師活動に力を入れています。3月は追い込みで5回の参加、年間30回の目標を達成しました。「高齢者のワケチンの話」、「腎臓とくすり」の新しいメニューができました。

**はみんぐ**

☆2年連続で新卒歯科衛生士を迎え、はみんぐ歯科14年目、呼称はみんぐ歯科10年目へ。訪問診療の大幅拡大に向けて準備中。  
☆6月の歯科診療報酬改定では、CAD/CAM装置を使った歯の被せものや詰め物にも適用拡大。口腔内スキャナを用いたデジタル印象も新設されました。

☆3・1ピキニデー集会には職員含め18名の代表が現地参加しました。

☆3月10日「第29回まちづくり・健康づくりフェスタ」をフルで開催。共生革命家ソーヤー海さんの講演会や、中学生の合唱コンサート、89本の企画が並び、1200人を超える参加で賑わいました。

☆尾張健康友の会に8つ目の丹陽支部が誕生。3月19日結成総会を27名で行い今後の活動方針を決議。  
☆3月14日、代表5名による3・1ピキニデー集会報告会に51名が参加。  
☆3月27日共済モルック交流会を開催し11チーム50名参加。腕を競った交流に大盛り上がりでした。

**尾張**

☆尾張健康友の会に8つ目の丹陽支部が誕生。3月19日結成総会を27名で行い今後の活動方針を決議。  
☆3月14日、代表5名による3・1ピキニデー集会報告会に51名が参加。  
☆3月27日共済モルック交流会を開催し11チーム50名参加。腕を競った交流に大盛り上がりでした。

**尾張**

☆尾張健康友の会に8つ目の丹陽支部が誕生。3月19日結成総会を27名で行い今後の活動方針を決議。  
☆3月14日、代表5名による3・1ピキニデー集会報告会に51名が参加。  
☆3月27日共済モルック交流会を開催し11チーム50名参加。腕を競った交流に大盛り上がりでした。



# 2024年度 愛知民医連いきいき研修医紹介

愛知民医連は、協立総合病院に6名、総合病院南生協病院に6名の研修医のみなさんをお迎えしました。今回、協立総合病院の元気いっばいの研修医のみなさんをご紹介します。

## 3つの質問

- ①学生時代に頑張ったクラブ・サークル、または学生時代・いま熱中していること
- ②おもしろかった、印象に残った本(マンガも可)
- ③自分のモットー、または自己アピール



**藤田 将成**  
ふじた まさなり  
協立総合病院で研修開始

埼玉医科大学卒業

①学生時代はテニス部と英語部に入っておりまして。テニスは初心者でしたが、様々なショットを先輩に教えていただき良いゲームをできるようになりました。また、英語部では英会話のスキルを磨き、大学での目標の一つであったハンガリーへの医学留学を大学の留学プログラムの選考会にて勝ち取ることができました。

②私の好きな本は「ディズニーマニア」です。今年初めに能登半島地震の際にディズニーマニアも揺れましたが、その際に、バイトの方々が震災マニュアルに載っているこ



**笠嶋 厚志**  
かさしま あつし  
協立総合病院で研修開始

宮崎大学卒業

①大学時代は、バレーボール部とウィンドサーフィン部に所属しておりました。どちらの部活でも家族のように毎日いつも一緒にいる友人がいて、一人暮らしでしたが非常に寂しい思いをすることがなく非常に楽しい日々を送っておりました。

②「夫のトリセツ」「妻のトリセツ」という本が非常に面白かったです。内容は、脳科学者が男性脳と女性脳を分析して、夫婦のす



**大竹 敦貴**  
おおたけ あつぎ  
協立総合病院で研修開始

鳥取大学卒業

①小中学校から大学までバスケをしていました。主力として活躍とはいきませんが、昭和のハツラツとした香りを感ぜられ、身体を動かしたくなる本です。

③自分の長所を挙げるとは、医療にいても大切だと思っております。

②元プロ野球選手・村田兆治さんの「まだ、現役には負けない！」です。心の時代、とよく言われ



**とうめ ひびき**  
とうめ ひびき  
協立総合病院で研修開始

聖マリアンナ医科大学卒業

①大学時代には準硬式野球部に所属しておりました。大学以前に野球の経験はなく、初心者からのスタートでした。未経験から上達するのは大変でしたが、試行錯誤の中の進歩は大変嬉しいものでした。この経験を後輩の指導にも活かすことができ、非常に充実した学生生活でした。

②印象に残っている本は、長谷敏司の「BEATLE」



**たなか まさき**  
たなか まさき  
協立総合病院で研修開始

愛知医科大学卒業

①学生時代には棋道同好会とボランテアサークルに所属しておりました。祖父に教えていただいた囲碁・将棋の経験を生かそうと思いついた同好会でしたが派生してボードゲームを仲間とやるようになりました。ボランテアサークルでは病気の子どもをサマーキャンプに連れていくなどの活動を行いました。サークル活動を通して子供たちとの接し方を学びました。純粋で自由な子供たちはとてもかわいらしいですがとても体力



**あだち こと たら**  
あだち こと たら  
協立総合病院で研修開始

旭川医科大学卒業

①趣味のドラムをを活かして、大学では軽音楽部、吹奏楽部、ジャズ研究会で活動しておりました。病院のイベントや、喫茶店、地元のお祭り、ライブハウスなど様々な場所で音楽を披露する機会に恵まれ、沢山の交流することができました。病院で演奏した際に患者様からいただいた「勇気をもらいました、ありがとう」と言う言葉は今でも強く心に残っています。

②子供の頃から大好きな漫

## 日本の医療を守ろう！

### 医師増員署名の推進めざし

### 決起集会を開催

震災被災地・石川県等から医師不足の状況が報告

3月14日、全日本民医連などがつくる「医師・医学生署名をすすめる会」は、3・14医師増員署名決起集会をWeb開催し350名が参加しました。集会後には東海北陸地協の決起集会も約30名で開催しました。集会では各地の医師不足が報告され、特に震災被災地の石川県ではほとんどと医師不足なうえに能登半島地震が重なり、一層深刻な状況となっていることが報告されました。

医師を増やすことは、医師のいのち・健康を守り地域の医療を守ること

日本の人口減少予測を背景に「これからは医師を減らせばよい」という意見がありますが、日本は先進7か国内でも最も人口当たり

の医師数が少なく、医学部卒業生も最少です。医師の不足が故に、自己犠牲的な過重労働によって健康を崩しながらも働く医師も増えており、過労死となるケースも発生しています。ただちに「医師を増やす」ことが、医師のいのちと健康を守り、地域医療を守ることにつながります。

決起集会では、医師の大幅増員と診療報酬の引き上げを求める署名運動が呼びかけられました。医師・医学生を対象に5月末までとりくみます。

まずは民医連内の医師、そして民医連外の医師へ働きかけましょう。医学生についてもつながり医学生へ声をかけて署名運動をすすめてみましょう。

民医連医師委員会事務局  
西崎 剛

**日本の医療を守りたい**  
守るのは私たち医師・医学生の声

圧倒的に少ない日本の医師  
その先にある、いのちの危機と医療崩壊

医師増員を  
強く求め、署名を  
すすめる

1 医学部の定員を増やそう！  
2 診療報酬の引き上げを！  
3 医学研究・教育施設への予算増し！

医療をまもるために、働き方の見直しと、医師の増員を

# 能登半島地震 への人的支援

# 3月支援 医師を派遣 (みなと医療生協) (みなと医療生協) (尾張健友会)

## 地震発生から3か月、断水はまだ続き、家屋は全壊・半壊 コロナ・インフルエンザも流行



内灘地区・大きく歪んだ地面と家々

3月11日から15日までの5日間、小松みなみ診療所の支援に行ってきました。この週は東海北陸地協の当番だったので、直前まで担当が決まらず診療所支援でしたが外科医でも良いとのことでしたので、急遽8日に行くことが決まりました。小松みなみ診療所は金沢よりも南にあり、震災の直接の被害はほとんどなかったようです。しかし能登で被災された方々が診療所近くの粟津温泉に避難されており、元々診療所に通院されている患者さんと避難者の方の慢患管理と急病の対応、それと往診をしました。往診がない日は午前と午後の外来で合わせて60人前後の患者さんが来院されま

その日の夕方には壮行会をしていただき、千秋病院の団結の強さを実感しました。小松みなみ診療所は金沢よりも南にあり、震災の直接の被害はほとんどなかったようです。しかし能登で被災された方々が診療所近くの粟津温泉に避難されており、元々診療所に通院されている患者さんと避難者の方の慢患管理と急病の対応、それと往診をしました。往診がない日は午前と午後の外来で合わせて60人前後の患者さんが来院されま



千秋病院 医師 長谷川 誠



協立総合病院 医師 小玉 祐介

石川民医連には城北病院をはじめ様々な院所がありますが、輪島診療所が壊滅状態、現在も水が出ない状態がつづいています。しかし被災者も移動しており患者数は少ないとのことでした。輪島より少し南にある羽

そこで小玉は城北病院でかぜ外来、救急外来を支援。城北病院の先生がそれぞれの診療所を支援する方針をとりました。直接被災地への支援ではないため被災支援としての実感はあまり持っていない。それでもTVでは一日中震災関連の情報が流れており、タクシーは3〜5割が被災地に行っており金沢では予約が取れない状態でした。ホテルではDMAT、JMAT、MMAT、日赤救護班の方々が連日宿泊さ



小松みなみ診療所

大変と思います。「困った時はお互い様」と民医連ならではの全国的かつ継続的な支援が大切だと感じました。

## まんがコーナー ⑱

パレタインにチョコを作りました!!

部活の男子に配り、

きゅん♡

どうぞっ!

本当はお父さんが作ってくれたんだけどね笑

一方お父さんは…

思春期の男子をモヤモヤさせてしまった---

尾張健友会の職員ご家族の方の漫画作品です。原案は、千秋病院・森賢洋さんの読者のひろば投稿です。

うちのわんこにゃんこ

対策に追われますが、楽しい毎日です

名南会 健康推進室 永井 慎吾

わたしのお気に入り (32)

音楽の世界がどんどん広がる radikoで楽しんでいきます

最近、スマホにラジオアプリ「radiko」を入れてよく聞いています。自動的に好みの音楽が選ばれて再生してくれるので、どんな音楽の世界が広がっていきます。中高生の息子がいるのですが、子ども達とも音楽の話で盛り上がる事が多くなりました。

北医療生協 北病院 薬局 鈴木 寛子

# 歩こう 平和行進

歴史と背景

三度の被爆と犠牲

1958年6月20日、広島市の原爆記念碑前を出發し、8月に東京で開かれる第4回原水爆禁止世界大会を目指して、日本最初の平和行進が西本あつしさんを先頭にして歩き出されました。

1954年3月1日の米国によるビキニ環礁での水爆実験の結果、第五

福童丸の無線長・久保山愛吉さんが「水爆の犠牲は私を最後に」という言葉を残し、急性放射能症により亡くなりました。広島、長崎、ビキニと日本国民は三度の大きな犠牲を強いられました。原水爆禁止を求めて大きな署名運動が起こりました。3000万人を超え、55年8月に開かれた第1回原水爆禁止世界大会（広島）で発表されました。

「核武装阻止と民主主義擁護国民運動月間（6月20日〜7月31日）」の主要な行事の一つとして開始されたものです。平和行進は原水爆禁止を求める国民要求を世界大会に結集するものとなり、その年以降、世界大会をめざす国民平和行進として取り組まれて続けています。

愛知県原水爆禁止協議会事務局 佐竹 康行



1958年・第1回平和行進

# 相談室

連載⑩

## 「私の気持ちシート」

身寄りのない入所者の方の「気持ちシート」の活用について

当施設では年々身寄りのない方の相談が増えています。

その中のAさんは入所前より身元保証団体と契約をしていました。しかし支援はだく中で様々な対応に不信感を持つようになり、話し合いをし、契約解除に至りました。

## 「私の気持ちシート」の存在を知りました

そんな中、先日参加したシンポジウムで「私の

今後成年後見制度を利用していくと話をしていた矢先に入院となり、今回の入院で会話や意思表示も難しくなりました。治療方針の話し合いを医師、看護師、医療ソーシャルワーカー、相談員で行い、治療を進めていくことになりました。Aさんにとって負担のない、最善の方法を決める事ができたのか、もっと早い段階で意思や気持ちを聞いてお聞きしていたらと今でも考える事があります。

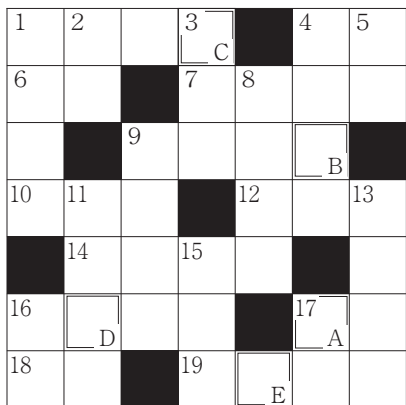
## 身寄りのない方の権利擁護と施設でできること

冒頭にも書きました身元保証の件も未だに身寄りのない方が入所等をする際に求められることが多く、Aさんのような事例が起こる事もあります。

支援相談員 河村 房江

クロスを書いてA~Gに入る文字を順にならべてできた言葉をこたえてね

答え A B C D E



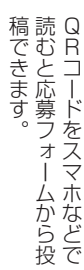
(出題 北メンタルクリニック 事務 幅しのぶ)

- 1 私たちが住んでいる星の本多忠勝といえはコレの名手
- 2 ある時間の幅。支柱感の距離
- 3 首長などを有権者の意思で解職すること
- 4 漢字には音読みと〇〇読みがある
- 5 めんつゆより濃いめ?
- 6 「朧月夜」と言えばこの花
- 7 日本発祥、タスキ、箱根
- 8 あー人違いでした
- 9 玄界灘にかぶ長崎県の鳥
- 10 人は2本、犬は4本の足
- 11 ピンチは〇〇〇〇!
- 12 大〇〇、〇〇地、〇〇上競技
- 13 これが発生すると視界が・・・正体は水蒸気が・・・
- 14 パーソナルコンピュータ
- 15 パンダ、西郷さん、忍池
- 16 井戸から水をくみ上げるための桶
- 17 ノースリーブ
- 18 人はコレを舌で感じます

- 17 人は2本、犬は4本の足
- 18 カトリア、エビネ、セツコク
- 19 恐れることなく突き進むこと
- 16 ノースリーブ
- 15 玄界灘にかぶ長崎県の鳥
- 14 ガソリンやベンジンなど
- 13 あー人違いでした
- 12 井戸から水をくみ上げるための桶
- 11 日本発祥、タスキ、箱根
- 10 パンダ、西郷さん、忍池
- 9 番号
- 8 めんつゆより濃いめ?
- 7 「朧月夜」と言えばこの花
- 6 首長などを有権者の意思で解職すること
- 5 漢字には音読みと〇〇読みがある
- 4 めんつゆより濃いめ?
- 3 ある時間の幅。支柱感の距離
- 2 ある時間の幅。支柱感の距離
- 1 私たちが住んでいる星の本多忠勝といえはコレの名手

「たてのカギ」  
【よこのカギ】  
3月号、正解は「春のお彼岸」。応募総数40通で全員正解でした。次の方々が当選されました。  
・一色 宏文さん (千秋病院)  
・原 洋子さん (名南ふれあい病院)  
・横江 浩美さん (老健あつたの森)

【応募要項】  
あて先は、〒456-10006 名古屋熱田区沢下町9-13 愛知民医連宛  
①こたえ、②事業所名、③



https://goo.gl/k5hZMy



応援していますよ  
老健かたらいの里  
クアマネ 真柄 久美代  
4月から大学生になる息子のスーツやパソコンを買

つたり、いろんな準備で大変ですが、初めてのアルバイトに緊張しながらも頑張っている姿を見ると嬉しく思います。応援していますよ。

お花見企画したけど  
桃山診療所 デイケア  
作業療法士 服部 藍子  
梅の開花が早かったので桜も早いだろうと思いつく中にお花見を企画しましたが大失敗。咲いていないのに雨の寒い日になりお花見どころではありません。

で、患者さんと医療従事者をつなぐツールとして活用できる事を知りました。  
千秋病院  
事務 山田 絵里  
暖かくなったら  
協立総合病院  
看護師 大石 桜

☆能登半島地震が発生してから3ヶ月が経とうとしています。奥能登の断水はいまだ解消されず、幹線道路から一歩路地に入れば倒壊の家屋が手つかずの状態です。この間、愛知民医連として金沢市内に医師・看護師支援、小松市に医師支援を行って来ました。また、輪島市内には職員の地域訪問行動を行い地域ニーズの把握や対話を実施してきました。引き続き、医師・看護師・地域訪問行動支援をお願いします。



職種、④氏名、⑤近況や紙面の感想、を記入し、ハガキ・FAX・電子メールでご応募ください。QRコードも可。ペンネームや事業所名・職種不記載は抽選の対象外です。パート・臨時職員もご応募いただけます。正解者の中から抽選で3人の方に図書カード進呈。近況や感想が「読者のひろば」に掲載された方も当選者の半額分の図書カードを進呈します。4月号クロスワードパズルの応募締め切りは5月8日です。

理事會報告  
☆能登半島地震が発生してから3ヶ月が経とうとしています。奥能登の断水はいまだ解消されず、幹線道路から一歩路地に入れば倒壊の家屋が手つかずの状態です。この間、愛知民医連として金沢市内に医師・看護師支援、小松市に医師支援を行って来ました。また、輪島市内には職員の地域訪問行動を行い地域ニーズの把握や対話を実施してきました。引き続き、医師・看護師・地域訪問行動支援をお願いします。